

第三者評価結果の公表事項（児童養護施設）

①第三者評価機関名

NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク岐阜福祉調査センター

②施設名等

名 称：	夕陽ヶ丘
種 別：	児童養護施設
施設長氏名：	石井充子
定 員：	40名
所 在 地：	岐阜県高山市山田町1230番地13
T E L：	0577-34-0499

③実施調査日

平成26年5月12日（月）～8月9日（土）

④総評

◇特に評価が高い点

・1967年から発足した法人の中・長期計画は2014年は第5期2年目を迎えている。第4期2006年に夕陽ヶ丘は大規模修繕を行った。大修繕では入浴環境、居住環境の整備がされ、食堂、娯楽室、学習室などの共有スペースも明るく清潔であった。第5期計画の終了は2020年であるが、児童家庭支援センター、地域小規模施設（小舎制）、本体施設のユニット化が展望されている。

・幹部職員の勤務年数は総じて長く、子どもを把握しており、若手職員を指導しながら、施設の理念に基づき昼夜を問わず子ども達に愛情を注ぎ、子ども達の心を解きほぐし、子ども達の発達と成長を願って毎日の職務に当たっていることが、訪問調査でうかがうことが出来た。

◇改善が求められる点

・施設長はじめ経験豊かな幹部職員の強いリーダーシップにより養育・支援が適切に行われているが、標準的な実施方法を職員に周知するためにも各種のマニュアル化が期待される。

・児童に対する暴力、人格的辱め、心理的虐待など不適切なかかわりの防止について職員、児童、保護者周知のための文書化、具体例を示した職員への研修、子どもたちが自分自身を守る為の知識、具体的方法についても学習する機会を設けられることを期待する。

・養育、支援の専門性を高めるためにも、職員の研修計画については更に具体的な立案と実践が期待される。

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

・改善が求められる点として口頭でもお聞きしておりましたが、各種のマニュアル化を今後進めてまいります。

・児童に対する暴力、人格的辱め、心理的虐待など不適切な関わりの防止についての文書化、具体例を示した職員への研修については、今年度法人で虐待防止委員会が発足され、各施設から代表者を出し、マニュアル化を行っており今年度中には、文書化される予定です。

・養育、支援についての理念等の文書化については法人で「求められる職員像」が作成されておりますが、周知については完全とは云えない面もありますので、今後改善してまいります。

・現在夕陽ヶ丘ではよりよい支援を行うために、職員が子どもと同じ目線で頑張ってくれています。

・ただ、今後小舎制が進むと、職員の意識の共有、一体化の維持が課題となってきます。そうなった時に、共通の認識を維持するための理念は必要になってくると思います。色々なものを見直す中の課題の一つとして考えていかなければならないと感じています。

⑥第三者評価結果（別紙）